

環境を重視した事業活動を展開する方針のもと ESG リースの 周知と事務体制の構築

【申請No.⑥】

池田泉州リース株式会社

1. 取組の概要

- 母体行実施のグループ会社トレーニーに対して脱炭素経営や ESG 手法スキルアップ教育を実施した。リース案件創出を目論むなかで ESG リースを紹介し補助金利用におけるユーザの手続き簡便さや対象機器の幅広さの周知を行った。
- リース会社の営業にとっては事務手続きの不慣れな問題を解決するため、専担事務担当者を設置し迅速かつ正確な事務処理を行った。
- その結果、特に ESG 意識が薄かった医療機器の取り扱いが増加した。またリピーターユーザーの獲得にもつながった。

2. 取組の目的

賃上げや人手不足、物価高、調達金利の上昇等により、中小企業を取り巻く経営環境は厳しさを増しており、脱炭素経営に取り組むために十分な経営資源を充てることは困難な状況となっている。このような環境下においても脱炭素経営を普及させるべく、リース会社独自補助金である ESG リースを最大限生かしたリース商品の提案を実施している。本制度を足掛かりにアライアンス先や母体行と連携を行いながら中小企業の脱炭素経営提案を推進していくことで持続可能な地域社会実現に貢献する池田泉州ホールディングスの目標に繋がっている。

3. 取組のポイント

弊社の営業エリアはクリニック等医療機関が多く、開業案件も母体行と連携してリース案件の取組みをしている。医療画像機器が ESG リースの対象であることをアピールし、取り扱い件数における医療機関向け案件の比率が前年度に比して倍増している。

4. 今後の展望

引続き母体行の池田泉州銀行より幅広く人材を受け入れ、若手行員を中心に脱炭素経営や ESG リースのスキルアップ教育を実施していく。また池田泉州リースの営業担当者に対しても、ESG 勉強会を開催することで、池田泉州銀行グループの ESG 人材育成も行っていく。